



伏見区役所

平成30年夏号【第8号】

神川出張所だよ



市民による自治120年

京都市が誕生したのは、日本に初めて市制が施行された明治22年のことです。政治的な重要性から、「市制特例」により自治権を制約され、独自の市長や市役所を持つことなく、京都府直轄の下、市政がスタートしました。こうした中、先人は、地域社会における自治を支える気概をもって、明治政府に対し力強い運動を繰り広げ、「市制特例」の撤廃という偉業を成し遂げ、市民の手によって市長を選任し、市職員を置き、市役所が開庁されました。



初代市庁舎

日頃は神川出張所をご利用いただきありがとうございます。どうぞございます。

地域女性会の皆様がお花を生けてくださいました。



伏見区役所からのお知らせ

明治を知れば京都がわかる。



今年は、明治150年。そして、京都が、近代における真の自治権を獲得してから120年の節目の年です。伏見区では、伏見連続講座特別編〈明治150年記念イベント〉を11月に開催します。

(内容)

※伏見の近代は、鳥羽・伏見の戦いの戦禍から始まり、数々の先進的な取組に挑戦してきました。その伏見の歩みを、講演会やまち歩きを通して、たどります。

※申込方法等詳細は、後日、区ホームページ等でお知らせします。

久我・久我の杜・羽束師地域のできごと



ママさんバレー羽束師チーム

3連覇!

4月に向日市民体育館で開催された「第40回 全京都ママさんバレーボール大会」は9日間に渡る熱戦の上、羽束師チームの3連覇で幕を閉じました。また、羽束師チームは、昨年、鳥取県で開催されました第7回全国ママさんバレー冬季大会で日本一に輝いています。すごすぎる。

【道岡監督の言葉】 チームワークと部員一丸となって勝ち取ることができました。関わった全ての皆さまに感謝します。

ふれあい朝市 売上 1,000 万 達成記念開催



5月19日(土)久我自治連合会館(旧神川出張所)にて、久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会主催で開催されました。



2009年から、毎月欠かさず開催され、この2月には100回の節目を迎えました。

男子ソフトボール大会久我チーム

優勝!



5月に開催されました伏見区民男子ソフトボール大会一般の部で、久我体育振興会が見事優勝! 20チームの頂点に立ちました。

※準優勝は羽束師チームです。神川管内でワンツーフイニッシュ達成! 素晴らしすぎる。

運動広場災害復旧工事について

羽束師運動広場・久我橋西多目的広場の災害復旧工事(昨年10月に台風21号により浸水のため)が完了しました。

利用料はいずれも無料です。大阪から取り寄せたグラウンド用の特別な砂が使われています。イレギュラーは起こらない?



【利用方法】

	申し込み
羽束師運動広場	羽束師小学校ふれあいサロンにて 第1第3土曜日、午前10時~11時、2ヶ月前分まで
久我橋西多目的広場	久我自治連合会館にて 毎土曜日、午前9時~10時、2ヶ月前分まで

羽束師神社還幸祭が雨の中開催されました

毎年5月第2日曜に行われ、神輿が氏子地域を巡幸し、御創建を祝い、五穀豊穡や1年の息災を祈る伝統のある祭りです。あいにくの雨でしたが、屋台が賑わい、子どもたちも喜んでいました。



久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会「歴史文化部会」 (羽束師神社 古川猛宮司を囲んで)

3地域の自治連合会を中心に設立された「久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会」にはいくつかの部会があり活動していますが、そのうち、「歴史文化部会」では、地域の歴史の掘り起こしをしています。今回、羽束師神社 古川猛宮司から地域の歴史をお聞きしました。

1,500年を超える歴史



羽束師神社は1,500年を超える歴史があり、土師氏（はじし）（粘土製のうつわ土師器を作った人々）にたどり着きます。これは有力な羽束師の語源でもあります。当時、どのような生活をしていたかが羽束師遺跡（現羽束師小学校・神川中学校）の発掘でわかってきました。弥生時代までさかのぼり、続日本紀に羽束師の名がでてきます。羽束師神社の言い伝えでは、477年雄略天皇時代の鎮座とされています。山城の国は全国でも古い地域であり山城の国神名帳（どこの国にどの神様を祭っているかが記載されているもの）の第一番目に羽束師神社が記載されています。

菅原道真公、神社参拝

土師氏が造った神社が羽束師神社であり、土師氏の末裔が菅原道真公です。大宰府下向の折、羽束師神社を参られています。なぜ羽束師神社に参られたかという先祖が土師氏だったからです。桂川の草津ノ湊（東岸）から船に乗り大阪の港に向かわれ、大宰府でわずか1年で亡くられました。学問の神様と言われていますが、元々は文武両道、剣の達人でもありました。道真公は出来がよすぎたのです。ねたみから罪を押し付けられ大宰府へ流されました。

水の恵みと水との戦い

羽束師は水とは切っても切れません。水の恩恵を受け、また、水に悩まされ続けました。稲も収穫の時に大雨がふると1年の苦労が水の泡です。江戸時代年貢米を納めながらの人々の暮らしは厳しいものでした。水害からどうしたら逃れることができるのか、200年前文政年間、6代前の羽束師神社宮司は、羽束師川の開削を計画しました。久我の方から、古川、樋爪、水垂を通り、大下津に流れる川を作るといいます。集まった人達は、その計画の大きさに驚き、残ったのは少しの村だけになりました。組合のお金や私財をすべて使っても足りず、資金集めに奔走したとのこと。1825年（文政8年）に20年かかって完成し、水害をまぬがれるようになりました。昔の人は、苦しい中、農耕にたずさわりました。普通は苦しいと土地を離れ、過疎になるところですが、祖先は羽束師から離れたくなかった、誰もこの土地を離れない。耐え忍んでこられた。当時の人が現在の発展した羽束師を見たら驚かれると思います。

学区案内チラシの配架について

神川出張所では3学区（久我・久我の杜・羽束師）の学区案内チラシ（地勢・歴史、魅力、主な年間行事等を掲載）を配架しています。また、「お住まいの学区の地域活動の紹介や、自治会・町内会への加入の取次ぎ」などを承っておりますのでお気軽にお声掛けください。

今年は、明治150年、そして、京都が、近代における真の自治権を獲得してから120年の節目の年です。先人の自治を支える気概を引き継いでください。

お知らせ

子育て支援のご案内

【会場】神川出張所区民交流スペース

■ケロちゃんひろば

【日時】奇数月第1水曜 10:30～11:30

【対象】0～2歳の親子対象

【内容】親子ふれあいあそびや
子育て講座など

問合せ 羽束師児童館(921-2926)

■ヨガ～Relax of Heart～

【日時】毎月第2・4水曜 10:00～12:00

【対象】乳幼児親子・一般の方

・前日までに事前申込みが必要

問合せ ハートの家族

(上川:090-3677-3569)

◆子育てサロン

地域の民生委員・児童委員、主任児童委員、学区社協、地域女性会等のみなさんが中心に開催。

【対象】0歳～就園前までの親子

問合せ 各児童館

伏見消防署神川消防出張所

夏の暑さがやってくると、河川やプールなどに出掛ける機会が多くなりますが、溺れて救急搬送される事故もこの時期に多くなります。生命を脅かす事故となる可能性が高く十分な注意が必要です。



問合せ Tel.075-922-7777

京都市久我の杜地域包括支援センター

憩いや集いの場を開催しています。

将棋の集い

毎月第2・4水曜 14:00～16:00

編み物同好会

毎月第2・4水曜 14:00～16:00

太極拳同好会

毎土曜 14:00～16:00

【場所】伏見区久我東町 202-6

(高齢者福祉施設 久我の杜内)

問合せ Tel.075-931-8024

久我の杜生涯学習プラザ

ロケ地を探る「懐かしの映画会」

【上映スケジュール】

7月29日、8月26日、9月30日、

11月25日、1月27日

・いずれも日曜日、午前10時又

は10時半から

問合せ Tel.075-934-3929

久我のもり図書館

◇テーマ図書「発酵パワー」「ほし」7月中、「自由研究」7月～8月中、「夏休み課題図書」7月15日～8月中

◇赤ちゃん絵本の会

7月13日(金) 11時

問合せ Tel.075-934-2306

久我・久我の杜・羽束師 ふるさと歴史コーナー

羽束師神社 古川猛宮司は歴史について次のように語られました。

「自分の地域はこういうところと誇りを持って言えるように、まとまり一致したもの、それが歴史です。神社の〈祭り〉は、〈間吊り〉を意味すると言われていています。絡んだ糸の真ん中を吊ると糸が集まるように、みんなが一緒になる。祭りは長い歴史の中で大切に人々が営んできました。神社は地域住民の間を取り持つ役割を担っています。人が集まり、ふれあいやコミュニケーションが生まれ地域がつながります。人と人が触れ合う場、誰でもが集える場なのです。昔は神社の木に登って子どもが遊んでいました。木から落っこちても、うまいこと受け身をしていたものです。」



歴史クイズその②



久我に縁のある女優です。どなたでしょうか。※正解は次号で

※村上源氏(中院流)の総本家久我家(こがけ)出身の方です。

前号(菅原道真公が立ち寄られたところは)の答 北向天満宮

時の権力者の謀略により、都落ちを余儀なくされた時の右大臣菅原道真公が筑紫大宰府に下向の折、先祖代々縁り深き、羽束師神社に参詣の際、立ち寄られたところであると伝えられています。その際、「捨てられて 思ふおもひの しげるをや 身をはずかしの 杜といふらむ」の歌を詠進され、北方の禁裏を見返りつつ、名残惜しき都への切実な想いを詠まれた由緒あるところでした。